

酪農とちぎ



7月31日 全国酪農民大会より

- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 通常総会
- 3 ページ 乳質共励会、環境美化コンクール表彰
- 4～5 ページ 米国ルーサン買付状況、全国酪農民大会
- 6～7 ページ 産業振興功労受賞祝賀会、東西南北
- 8～9 ページ 部課だより
- 10 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績

www.milkjapan.net



第12回通常総会 開催



6月27日、高根沢町民ホールに於いて栃木県農政畜産振興課杉本課長を来賓に迎え第12回通常総会が開催されました。

開会に先立ち菊池組合長から、東日本大震災から2年余りが過ぎても原発事故に伴う損害賠償が遅々として進まぬ状況の中、組合は引き続き損害賠償対策や安心安全な畜産物の生産対策と消費者の信頼

確保に向けた情報発信に努めている旨述べました。

また、政府のTPP交渉参加表明に伴い今後ともTPP参加断固阻止に向け、消費者団体や関係団体と連携強化し運動に取り組んで行く熱意を述べ、最後に平成25年度は第3期中期構想の2年目となるが、好調な生乳生産を継続し酪農生産基盤の確立に向け、組合員



議長（左）齋藤 章氏・（右）柳 憲一氏

の皆様と手を携え一体感を持って組合運営に取り組む所存であると挨拶をしました。

議長団には齋藤章氏（那須町）と柳憲一氏（真岡市）が選任され、議事を進行していただきました。

議案

- 第1号議案 平成24年度事業報告及び剰余金処分案について
- 第2号議案 定款の一部変更について
- 第3号議案 規約の一部変更について
- 第4号議案 平成25年度事業計画の設定について
- 第5号議案 平成25年度賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法について
- 第6号議案 平成25年度理事及び監事の報酬について
- 第2号議案については、出席者2/3以上の賛成により、またその他の議案についても賛成多数で可決承認されました。



また、「TPP断固反対に関する特別決議」についても満場一致で承認されました。

当日の出席状況

組合員数	609名
本人出席数	141名
代理人出席数	0名
書面議決	424名

主な質疑・意見要望事項

- ① ヘルパー事業について
- ② 地域説明会再開について
- ③ (株)酪農とちぎアグリサポーター稼働状況について

第11回乳質共励会表彰者名簿

平成25年 6月27日

表彰区分	支所名	組 合 員 名	連続賞	組合外表彰
最優秀賞	那須高原	前田 宏幸		県知事賞
	〃	安田 守		県知事賞
	宇都宮	駒場 久	2年連続	県知事賞
	県南	伊沢 琢磨	2年連続	県知事賞
優秀賞	那須高原	田代 和一	5年連続	農政部長賞
	宇都宮	小口 誠一	6年連続	農政部長賞
	〃	須藤 建次		農政部長賞
	那須高原	井上 徹男	2年連続	
	宇都宮	小林 幸雄		
	那須高原	後藤 浩		
	〃	高柳 好美		
	〃	仲間 健栄		
	県南	菱沼 三千子		
	〃	利根川 晟		
優良賞	〃	大関 一男		
	宇都宮	小森 崇宏		
	〃	羽田 栄		
	〃	山本 修		
	〃	手塚 薫		
	那須高原	太田 賢治		
	〃	猪瀬 良一		
	県南	柳 吉成		
	〃	加藤 俊雄		
	那須高原	平山 金男		
	〃	斎藤 実一		
	〃	人見 賢一		
	〃	人見 修由		
	〃	(有) 森 牧場		

以上、28名の方々が第11回乳質共励会において特に優秀な成績を収められました。

通常総会の審議に先立ち、乳質共励会並びに、環境整備・美化コンクールの表彰が行われました。
受賞された方々には、敬意を表しお祝い申し上げます。



第11回乳質共励会表彰

第2回環境整備・美化コンクール表彰

第2回環境整備・美化コンクール表彰者名簿

平成25年 6月27日

表彰区分	支所名	組 合 員 名	備考
優秀賞	那須高原	横山 丈晴	
	〃	間宮 祐一	2年連続
	〃	(株) 桃井 牧場	2年連続
	〃	伊藤 高行	2年連続
	〃	菊地 勇	2年連続
	〃	星 民也	2年連続
	〃	人見 寛昭	
	〃	皆川 悦郎	2年連続
	〃	佐藤 栄昭	2年連続
	〃	小針 勤夫	
	〃	小針 秀夫	
	〃	熊谷 貞二	2年連続
	〃	和田 泰	
	〃	桜井 和徳	2年連続
	〃	(有) ウェルシーファーム	2年連続
	〃	大内 淑公	
	〃	(有) 那須高原今牧場	2年連続
	〃	利根川 晟	2年連続
	〃	杉本 茂雄	2年連続
	〃	斉藤 拓己	2年連続
〃	高柳 好美		
優秀賞	那須高原	八木沢 美佐雄	2年連続
	〃	長島 粂雄	2年連続
	〃	関 正夫	2年連続
	宇都宮	駒場 久	2年連続
	〃	植木 靖	
	〃	大柿 彰吾	2年連続
	〃	(有) マウントグリーン牧場	2年連続
	〃	中山 光雄	
	〃	田中 和雄	
	〃	仲山 日出男	2年連続
	〃	鷹 箸 稔	
	〃	小林 幸雄	
	県南	國母 孝至	2年連続
	〃	羽石 智昭	2年連続
	〃	(株) ジェイティーファーム	2年連続
	〃	コージーファーム(株)	2年連続
〃	柳 吉成	2年連続	
〃	(有) 黒崎 乳業	2年連続	
〃	杉本 利雄		
〃	高橋 平治		

以上、41名の方々が環境整備・美化コンクールにおいて特に優秀な成績を収められました。



米国ワシントン州産 ルーサーン1番刈現地リポート

那須高原支所 業務推進課

相馬 達夫

昨年を振り返りますと、南ベースンで収穫中に2回以上のまとまった雨に当たった圃場が多く、60〜70%が雨当たり、中・北ベースンで20%が軽い雨当たり、20%が酷い雨当たり、そして適期に刈れず刈遅れ気味となったスタックが目立った年となりました。ベースンの降雨はチモシーにも影響を及ぼし作柄的にも物量的にも厳しい一年となり、また他の産地ではスー



見た目は良いが握るとわかる「しつこい硬さと嫌な粘り気」のある刈遅れ品

ダングラス、クレイングラスおよびバミューダの主産地であるインペリアルバレー（エルセントロ）で、7月末に季節はずれの非常に激しい降雨があり収穫中のスーダングラスについては甚大な雨当たり被害が発生しました。また昨年はトウモロコシの産地が高温乾燥により生産量の減少が懸念されたことから7月20日には史上最高値を更新し、その後も早魃の影響により単収が大幅に下方修正され配合飼料の高騰を招きました。



茎質・葉付きが申し分無い、希少価値の3タイ

そのような昨年の悲惨な状況を受けての渡米となりました。今年の渡米前の状況としましては、収穫開始からしばらくは天候も順調だったものの5月中旬に天候が悪化し生産者は一斉に収穫を中断し天候の安定を待ったとのことでした。私が現地入りした時点では、南ベースンでベールリングがすべて終了し90%が雨当たりとなっており、北ベースンでも40%の雨当たりが発生して、全体的に例年の如く一番刈りは雨当たりが目立ち、それを避けるために収穫を遅らせた物はDRYで刈遅れ、低成分の品物が多く見受けられました。そのような状況でも、茎質がしっかりといて葉付きも良い「良品」のピッ



アラビア語の標記のあるUAE向けの物

クベールと3タイの圃場の（希少価値）検品をしてまいりました。ただ本年も際立っていたのが中国・UAEの購買意欲で、日本はUAEに抜かれ、さらには中国の勢いも一層旺盛となっております。

またコロンビアベースン・エレズバークはチモシーの産地でもあります。残念ながら私が到着する2週間前に激しい降雨が2度ほどあり、甚大な被害を受けております。昨年の雨当たりとは比較にならない大きなダメージを受けており、あるサプライヤー曰く「ワシントンのチモシー事情は史上最悪の状態」である。エレズバーク・コロンビアベースンのトータールで良品は40〜50%、ただしそこ



刈取後ウインドローの状態であたり、色あせたチモシー（No2グレード?）



から馬用がひかれるので酪農用は絶対的に不足する。また雨を避け刈遅れのチモシーに関して色合いも非常に悪く、良品としては扱えない品物となるだろう」またそのような状況ではグレードがぶれ易く価格も一定しない可能性が大きく、その辺りを十分に見極める必要があります。

しかし、滞在中にも刻一刻と情報が入ってきており、昨年大雨で悲惨な状況にあったスーダングラスやクレイングラスの状況は非常に良い見通しとなっており、今後の飼養管理においては十分使える草となることでしょう。

まとめとして、中国・UAEの台頭、3タイベールスタックの減



ビックベールにしてはしっかりとした葉付きの良い品物

少等、米国の意識が日本からどんどん離れてきているのは毎年加速している感があります。昨年も述べましたが、今後は中国・UAEと対等にビジネスを進められるように「チーム・ジャパン」として関係各位と連携を密にとり米国サプライヤーと対峙していかなければならないと強く思いました。

最終日、帰国の準備をしてシアトル・タコマ空港に到着したその時にサンフランシスコ空港の飛行機事故の連絡が入りました。少しの揺れにもドキドキしながら帰国となりましたが梅雨明けをした日本に降り立ったとき、日本の暑さと湿気に膝が崩れ落ちるような思いになりました。



帰りの飛行機から覗く Mt. レイニア (タコマフジ)

日本の酪農を守る全国酪農民大会

7月31日、日本酪農政治連盟による『日本の酪農を守る全国酪農民大会』が開催されました。自由民主党本部8階の自民党歴代首相の肖像画が並ぶ大ホールに全国から酪農家が集結し、熱気に満ちた中で佐々木勲委員長が次のように挨拶しました。「乳価値上げがあったものの、アベノミクスによる円安により飼料、生産資材の高騰で大変な状況だ。TPP交渉も懸念を抱く。政権与党の自民党の先生方には是非頑張ってください。」それを受け、来賓挨拶では自民党議員6名が挨拶しましたが、森英介議員は「アベノミクスによって経済に良い兆候が出ている。これが中小企業、地方においても実感できるようにしていくことが課題であり、我々の仕事だと考えている。」と述べました。また、西川公也議員は、「重要5品目を守る。政府の交渉団にも厳しく申入れをしている。」と強調しました。

ブロック代表要請では、各地の代表者が「牛群検定、ヘルパー、個体識別に手厚い助成を。」「我々も安全な生乳生産を約束する。議員先生方も約束を守って欲しい。」「後継者が安定的な経営が出来るようにして欲しい。」など、思いの丈を述べました。

その後、霞ヶ関をデモ行進し、日比谷公園にて散会となりました。



齊藤 達夫氏

「栃木県産業振興功労受賞祝賀会」開催

7月16日、ホテルニューイタヤに於いて酪農とちぎ技術顧問であります齊藤達夫氏のこれまでの功績が認められ、栃木県より「栃木県産業振興功労賞」を受賞し、祝賀会が夫人同伴により盛大に開催されました。

酪農学園同窓会、改良同志会、拓陽会、組合の各有志が発起人となり、総勢104名が集いました。発起人を代表し菊池組合長の挨拶のあと来賓の栃木県農政部長水沼氏より受賞の経緯と御祝の言葉を頂きました。

記念品と花束の贈呈があり、齊藤技術顧問から受賞の挨拶がありました。

歓談の間にも齊藤顧問のお人柄を表すかのようにご夫婦の周りには終始たくさんの方々が集まり、お声をかけられて和やかなムードの中閉会の時間となりました。

ご夫妻の退場時には、何処からともなく人間アーチの輪ができて

がりその中をご夫婦で通り抜け、盛大な拍手と共に閉会となりました。齊藤技術顧問の益々のご活躍を祈念致します。



齊藤達夫、和子ご夫妻



東西南北

那須高原支所

平成25年度支所事業について

6月18日、那須高原支所にて活動推進協議会（会長 白井勉氏）が開催され以下の事業について決定致しました。

〈支所事業計画〉

●6月12日 花の苗配布
インパチェンス・ベコニア・サルビアを配付し、牛舎環境美化に努めました。

●8月6日 全体交流会
組合員間の親睦交流を深めるため、那須共同利用模範牧場にて野外パーティー（バーベキュー、お楽しみ抽選会等）を開催します。

●11月 全体研修会（講演会）

●2月 ボウリング大会

女性会大田原支部

イギリス式テーブルマナー研修会

去る7月9日、福島県羽鳥湖近くにあるブリティッシュヒルズにて、女性会大田原支部（粕谷絹子支部長）のイギリス式テーブルマナー研修会（15名参加）を開催しました。

到着直前は霧雨だったとの事でしたが、参加者の日頃の行いが良



いたためか（？）到着時は、うって変わって暑い位の晴天になっておりました。

門をくぐって場内に入ると歓喜の声があがり、ゆっくり見たい気持ちをおさえつつ、研修会場に足を進めました。

会場はハリーポッターに出てくるような食堂で、美味しい食事をいただきながらのマナー研修となりました。また、食後には、約100年前の建物を再現したマナーハウス見学を行いました。館内には家具調度品など17000、1900年代の物が沢山あり、上品で重厚なつくりの部屋、中でもクイズ形式で出されたペルシャ絨毯の金額にびっくりされていました。支所員同士のマナーや食事について会話が弾み、懇親を深められておりました。楽しい時間はあっ



という間に過ぎ、忙しい仕事のつかの間の楽しい研修会を行うことができました。

宇都宮支所

平成25年度支所事業について

7月5日、宇都宮支所にて支所活動推進協議会（会長 小林幸雄氏）が開催され以下の事業について決定致しました。

〈支所事業計画〉

● 7月26日・29日・30日

生乳生産チェックシート記帳確認及び牛舎周辺環境美化巡回

● 8月8日 全体交流会

組合員間の親睦並び酪農とちぎとの交流を深めるため、酪農とちぎ常勤役員からの講話を頂いた後、支所前広場にてバーベキュー、お楽しみ抽選会を開催します。

● 10月 役員会

● 10月下旬～11月 花の苗配布パンジー（20本）とビオラ（30本）を配布し、牛舎環境美化に努めます。

● 12月上旬 酪農セミナー

● 12月上旬 生乳生産チェックシート記帳確認及び牛舎周辺環境美化巡回

女性会宇河今市支部研修会開催

去る6月19日、女性会宇河今市支部（菱沼聖子支部長）会員で東京方面へ研修旅行に出かけました。当日は台風の余波で風が強かった

ものの、楽しい一日を過ごすことが出来ました。まず、世田谷パブリックシアターで舞台劇を鑑賞です。シェークスピアの四大悲劇の中で、最も人物の心理が分かりやすい作品と言われる「オセロ」を見ました。今回のオセロは、演出が変わっていて、出演者が俳優と演出家になって物語が進行する二重構成の舞台でした。出演者は十人ほどで、舞台の中に演奏家席と、楽屋を思わせる洗面台があり、客席には演出家席を設置し演出家も演じるといった仕掛けがされていました。観客も、俳優に起立を促され立つ場面があり、出演者の一部となっていました。このような場合は、劇場内全体で一つの作品が作られているといった感じでした。私達は2階席だったこともありませんが、上から見下ろした舞台は臨場感があり目を見張るものがありました。

そして、恵比寿ガーデンプレイスにあるウェスティンホテル東京での、ディナービッフェは、グルメ誌で1位にも輝いた実力派のレストラン「ザ・テラス」です。こちらで美味しい物を沢山頂きました。特にデザートは見た目も味も格別でした。お腹も一杯になって帰路につきました。

いつもと違った一日を過ごすことよって、女性会の皆さんが、元気になれた素敵なお一日でした。

県南支所

〈支所事業計画〉

平成25年度支所事業について

6月21日、県南支所にて支所活動推進協議会（会長 杉野昇氏）役員会を開催し、各事業について決定致しました。今後の計画は次の通りです。

● 11月6日 花の苗配付

2 地域酪農組合合同研修会の開催に併せて、パンジー・ビオラ及びプランターを配付します。

● 12月3日 全体交流会

組合員間の親睦交流を深めるため、バーベキューやお楽しみ抽選会を開催します。

● 税務申告学習会

組合員の根本壽一氏（ソリマチ農業ソフト認定アドバイザー）と石川明氏の両名が、記帳指導及び青色申告決算書の作成指導を、年度内に随時行います。また、税理士による申告指導も実施予定です。以上、前年度に引き続き各事業を展開して参りますので、是非ご参加、又は対応を宜しくお願い致します。

支所全体研修会を開催

7月29日、支所活動推進協議会による研修会を県南支所にて開催し、38名が受講しました。今回の研修は、雪印種苗(株)の近藤聡氏と石田聡一氏を講師にお招きし、現在の飼料高騰への対策として良質

な国内自給飼料の確保と、その給与メリット等について講演を頂きました。

先ず、近藤氏から良質な自給飼料の調整として、デントコーンや牧草の刈取時期と栄養価及び乳酸菌添加の効果等について、生産から調整に至るまでのポイントを説明されました。

次に、石田氏からは給与飼料の品質による乳量・乳質等への影響や、暑熱対策について御指導を頂いたほか、飼料稲の有効活用として、雪印種苗(株)千葉研究農場の給与事例が紹介されました。お二人の講演は、現在の酪農情勢を踏まえての対策等であり、本当に有意義な研修会となりました。併せて、今後の経営向上の一助にして頂きたいと思えます。



部課だより

生乳販売課

平成25年7月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し101・1%（1万7720t）と、21ヶ月連続し前年を上回る生産となりました。また、年間の受入乳量は、那須高原支所4万4265t（前年比102・8%）宇都宮支所1万1026t（前年比100・6%）、県南支所1万8138t（前年比99・7%）、合計で7万3430t（前年比100・7%）となりました。

出荷者数は、前年同月より20戸減の505戸（内、学校・公共団体3戸）でした。

また、乳質につきましては、脂肪率が前年を若干下回り、無脂固形分率は上回る状況、細胞数は前年と同様となりました。

尚、7月迄の累計不合格件数は403件となり、前年（407件）を若干下回りました。

関東生乳販連の6月総受託乳量は、生産量が前年を下回る会員も散見され、前年比99・0%と961t程前年を下回り、累計でも99・4%と前年割れの状況が続いています。

一方、6月の用途別販売数量は、飲用向け販売数量が前年比101・3%と3ヶ月連続で前年を上回り、

関東生乳販連用途別販売数量

(単位: kg・%)

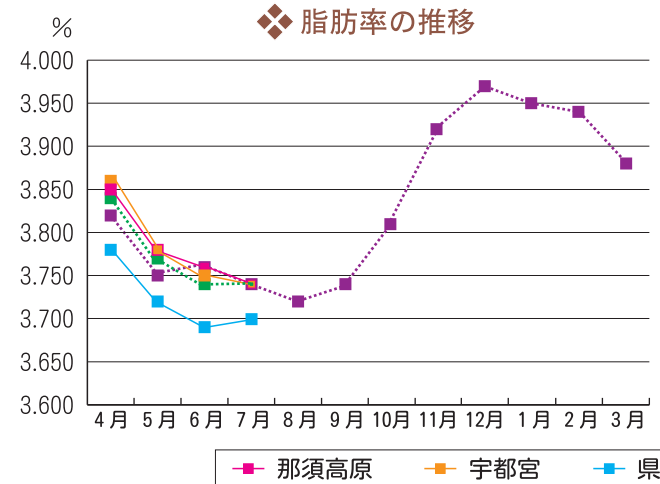
用途	6月実績	前年実績	前年比	累計実績	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	72,861,679	71,911,307	101.3	217,462,992	214,588,598	101.3
(うち学校向け)	13,176,709	13,764,420	95.7	36,229,044	36,903,165	98.2
はっ酵乳向け	13,983,957	14,947,390	93.6	42,738,285	45,212,795	94.5
特定乳製品向け(加工)	7,648,105	8,004,488	95.5	35,293,293	35,733,494	98.8
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,844,628	2,425,061	76.1	5,837,626	7,521,028	77.6
チーズ向け	61,001	71,825	84.9	182,456	209,494	87.1
全乳哺育向け						
総受託乳量	96,399,370	97,360,071	99.0	301,514,652	303,265,409	99.4
加工比率	7.93	8.22	-	11.71	11.78	-

【乳脂肪率低下にご注意下さい】
近年、関東生乳販連会員の乳脂肪率平均値が下がり続けています。今後も万全な暑熱対策と適正な牛群管理等により、生産量と乳質等の維持をお願い致します。

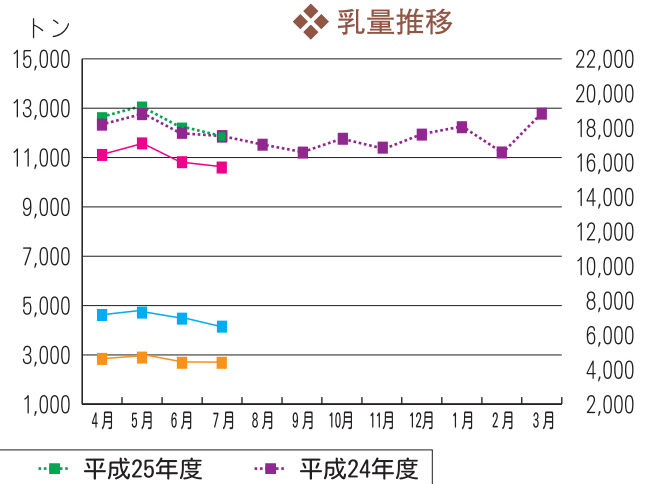
累計加工率も11・71%と前年を若干下回る等、歓迎出来る状況となっております。

尚、組合の平成25年7月度の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

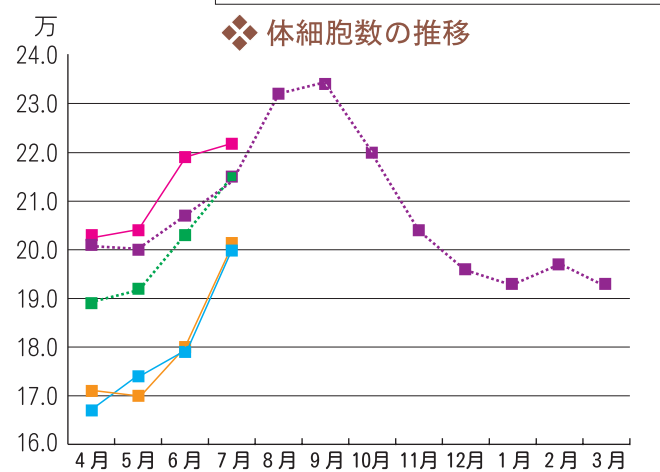
脂肪率の推移



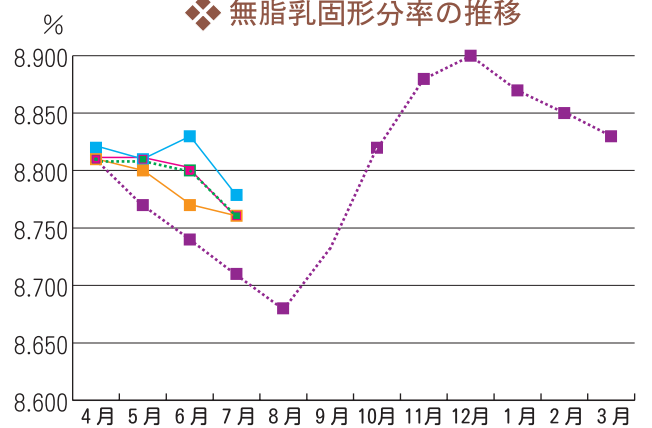
乳量推移



体細胞数の推移



無脂乳固形分率の推移



業務部

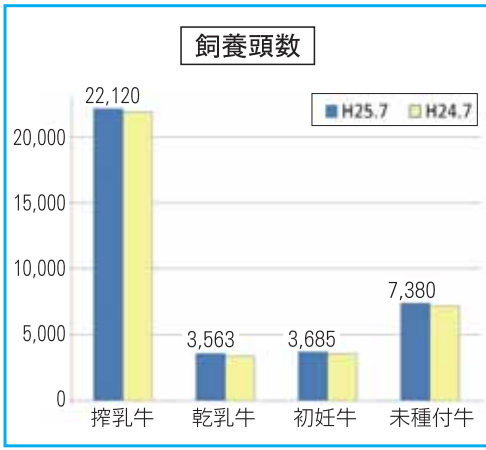
7月1日現在での乳牛飼養動態調査を実施した結果が取りまとめられましたので以下のとおり報告します。

1 出荷者戸数について

昨年7月の調査以降の酪農経営中止者は19戸、新規加入が1戸あり差し引き18戸減の504戸となりました。酪農中止の理由は、高齢や後継者がいないが5戸、経営転換や他産業への転業が9戸（内経営不振4戸含む）、死亡・病気療養その他が5戸となっています。

2 飼養頭数について

団体を除く飼養頭数は前年7月より762頭（2.1%）増加し3万6748頭でした。そのうち、経産牛は427頭（1.7%）増加し2万5683頭、自家育成は52頭（0.6%）減少し838頭でしたが、外部預託牛について

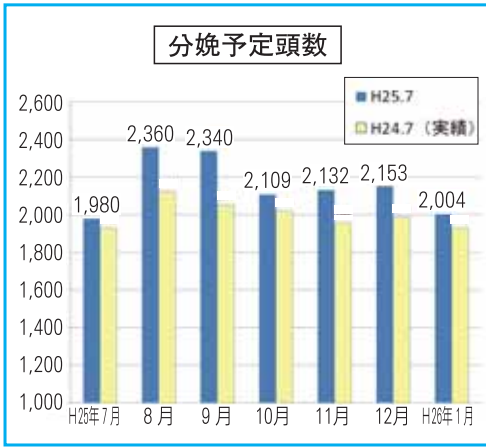


3 分娩頭数について

7月から1月までの分娩予定頭数は、前年同期実績に比べ106頭増加し1万5078頭です。各月とも昨年を上回る予定で、特に8月、9月が大きく上回っており昨今の猛暑からくる分娩月のずれ込みと新規加入者の影響とされます。

また、品種別受胎状況はこの調査表に記載はないのですが、ホルスタイン種は8120頭の53.9%（昨年8169頭、55.4%）、交雑種は5973頭で39.6%（昨年5822頭、39.0%）、和牛（E.T）は987頭で6.5%（昨年937頭、5.6%）となっており、ホルスタイン種が1.5%減少、交雑種及び和牛E.Tがそれぞれ0.6%、0.9%増加しています。

は387頭（14.5%）増加して2677頭で1戸平均の飼養頭数は4頭増加して、72.9頭です。



乳牛飼養動態調査表

(平成25年7月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数								1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛頭数	月別分娩予定頭数（下段は昨年同月度実績頭数）							
			経産牛		自家育成牛		外部預託牛		合計	H25.7月			8月	9月	10月	11月	12月	H26.1月	合計	
			搾乳	乾乳	小計	初妊	未種付	初妊牛		未種付			H25.7月	8月	9月	10月	11月	12月	H26.1月	合計
那須高原支所	H25.7 (構成比)	317	13,530	2,102	15,632	1,697	3,463	750	1,200	22,742	71.7	581	1,238	1,439	1,387	1,205	1,203	1,273	1,194	8,939
	H24.7 (構成比)	327	13,155	2,059	15,214	1,649	3,598	538	1,020	22,019	67.3	593	1,140	1,257	1,178	1,174	1,093	1,190	1,155	8,187
	増減	▲ 10	▲ 375	▲ 43	▲ 418	▲ 48	▲ 135	▲ 212	▲ 180	▲ 723	▲ 4.4	▲ 12	▲ 98	▲ 182	▲ 209	▲ 31	▲ 110	▲ 83	▲ 39	▲ 752
宇都宮支所	H25.7 (構成比)	88	3,121	505	3,626	518	1,169	115	255	5,683	64.6	63	269	311	340	329	312	319	284	2,164
	H24.7 (構成比)	92	3,166	516	3,682	543	1,085	115	253	5,678	61.7	139	276	326	337	303	308	311	275	2,136
	増減	▲ 4	▲ 45	▲ 11	▲ 56	▲ 25	84	0	2	5	2.9	▲ 76	▲ 7	▲ 15	▲ 3	▲ 26	▲ 4	▲ 8	▲ 9	▲ 28
南支所	H25.7 (構成比)	99	5,469	956	6,425	480	1,061	125	232	8,323	84.1	23	473	610	613	575	617	561	526	3,975
	H24.7 (構成比)	103	5,561	799	6,360	599	966	119	245	8,289	80.5	31	516	544	539	545	559	489	501	3,693
	増減	▲ 4	▲ 92	▲ 157	▲ 65	▲ 119	▲ 95	▲ 6	▲ 13	▲ 34	▲ 3.6	▲ 8	▲ 43	▲ 66	▲ 74	▲ 30	▲ 58	▲ 72	▲ 25	▲ 282
小計	H25.7 (構成比)	504	22,120	3,563	25,683	2,695	5,693	990	1,687	36,748	72.9	667	1,980	2,360	2,340	2,109	2,132	2,153	2,004	15,078
	H24.7 (構成比)	522	21,882	3,374	25,256	2,791	5,649	772	1,518	35,986	68.9	763	1,932	2,127	2,054	2,022	1,960	1,990	1,931	14,016
	増減	▲ 18	▲ 238	▲ 189	▲ 427	▲ 96	▲ 44	▲ 218	▲ 169	▲ 762	▲ 4.0	▲ 96	▲ 48	▲ 233	▲ 286	▲ 87	▲ 172	▲ 163	▲ 73	▲ 1,062
団体	H25.7 (構成比)	3	30	13	43	10	20	0	0	73	24.3	27	2	10	4	3	4	4	2	29
	H24.7 (構成比)	4	75	50	125	27	46	0	0	198	49.5	24	6	8	11	7	8	6	3	49
	増減	▲ 1	▲ 45	▲ 37	▲ 82	▲ 17	▲ 26	0	0	▲ 125	▲ 25.2	▲ 3	▲ 4	▲ 2	▲ 7	▲ 4	▲ 4	▲ 2	▲ 1	▲ 20
合計	H25.7 (構成比)	507	22,150	3,576	25,726	2,705	5,713	990	1,687	36,821	72.6	694	1,982	2,370	2,344	2,112	2,136	2,157	2,006	15,107
	H24.7 (構成比)	526	21,957	3,424	25,381	2,818	5,695	772	1,518	36,184	68.8	787	1,938	2,135	2,065	2,029	1,968	1,996	1,934	14,065
	増減	▲ 19	▲ 193	▲ 152	▲ 345	▲ 113	▲ 18	▲ 218	▲ 169	▲ 637	▲ 3.8	▲ 93	▲ 44	▲ 235	▲ 279	▲ 83	▲ 168	▲ 161	▲ 72	▲ 1,042

理事会だより

6月度理事会（6月28日）

報告事項

- (一) 業務経過報告について
- (二) 組合資金貸付について
- (三) 組合プール乳価について
- (四) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (五) 関連会社（栃木明治牛乳株式会社）の業務報告について
- (六) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 5月度事業実績について
- (二) 那須高原配送センター補修工事に係わる施主代行管理契約の締結について
- (三) 栃木県畜産農業協同組合連合会の役員選任について
- (四) 夏季手当の支給について
- (五) 酪農生産基盤回復緊急支援事業の対応について
- (六) 理事の報酬の配分について

7月度理事会（7月30日）

報告事項

- (一) 組合員加入について



協議事項

- (一) 6月度及び第1四半期事業実績について
- (二) 子会社（株）酪農とちぎアグリサポートの第1四半期事業実績について
- (三) 固定資産の取得について
- (四) 業務経過報告について
- (五) 組合資金貸付について
- (六) 組合プール乳価について
- (七) 夏季手当の支給について
- (八) 関東生乳販連情報について
- (九) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (十) 牛牛飼養動態調査結果について

お知らせ



ふれあい牧場初妊牛の販売について

この度、ふれあい牧場初妊牛を販売することになりました。販売牛・販売方法は次の通りです。

◇販売牛

1348132170

（生年月日 平成23年9月20日）

◇種付年月日 平成25年1月29日

◇供用種牛

J P 3 H 5 3 6 5 5 X

（エンドレスジアンビ性判別）

◇分娩予定日 平成25年11月6日

◇販売価格 47万円（税別）

◇申込方法

購入希望の方は、8月20日までに左記あてご連絡下さい。申込み多数の場合は、後日ふれあい牧場にて申込者立会いのもと抽選会を行います。

◇問合せ先

酪農とちぎ ふれあい牧場

☎ 028-676-1143

お詫びと訂正

前号でホルスタイン共進会 デイリープリンセスの荒井翔子さん（那須烏山市）のお名前が間違っております。訂正してお詫び申し上げます。

7月度 ホクレン初妊牛市場成績 [単位：千円（税込）]

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	(そのうちET牛)		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
南北海道	7月5日	71	68	95.8%	455	1	1	695
十勝	7月8日	689	571	82.9%	531	110	100	658
釧路	7月9日	240	159	66.3%	491	2	2	528
北見	7月10日	344	259	75.3%	490	4	4	536
根室	7月11日	415	298	71.8%	500	30	26	657
豊富	7月12日	352	222	63.1%	469	6	3	585
合計		2,111	1,577	74.7%	502	153	136	651
前月		1,827	1,197	65.5%	488	105	88	664
前年同月		2,330	1,526	65.5%	473	85	69	647

7月の市場は大口需要者を中心に買いが盛んでした。10月からの乳価値上げと資源の減少で、8月以降の初妊牛相場はさらに堅調に推移すると思われれます。乳牛導入をお考えの方は、支所業務推進課までお問合せ下さい。

7月度 県内家畜市場成績 [単位：円（税込）]

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
西那須野	ホルス雄	127	126	61	84,000	740	64,456	▲1,472
	F1雄	109	109	58	228,900	42,000	178,847	1,763
	F1雌	83	80	53	173,250	22,050	119,438	▲5,769
館林	ホルス雄	4	4	80	67,200	59,850	64,838	▲3,412
	F1雄	9	9	91	239,400	109,200	203,000	▲5,688
	F1雌	6	6	91	207,900	164,850	191,275	▲88

例年7月になるとスモール相場は下落傾向になりますが、今年は県外からの購買者が多く、また枝肉相場も高値であるため、強保合の状態になっております。

